

科目名	日本語学の基礎 I	
担当者	安本 真弓 / YASUMOTO, Mayumi	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	言葉は変化するものであり、その変化の結果、古代の日本語は現在の姿になった。では、日本語はどのように変化してきたのだろうか。また、なぜ変化したのだろうか。ここでは、日本語の歴史の概要を把握したうえで、日本語の歴史をとらえるための視点について解説する。
	到達目標	1. 日本語の歴史について、その流れを略述し、重要事項が説明できるようになる。 2. 日本語の歴史、および言語の変化に関する問題点に気付くことができ、その問題について考える姿勢を身につける。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 奈良時代の資料 (3) 奈良時代の音韻・語彙・文体・文法 (4) 平安時代の文字・音韻 (5) 平安時代の語彙・文体・文法 (6) 鎌倉時代の文字・音韻 (7) 鎌倉時代の語彙・文体 (8) 鎌倉時代の文法 (9) 室町時代の文字・音韻・語彙・文体 (10) 室町時代の文法 (11) 江戸時代前期の文字・音韻・文法・待遇表現 (12) 江戸時代後期の文字・音韻・文法・待遇表現 (13) 明治時代以後の文字・音韻 (14) 明治時代以後の語彙・文体・文法 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】近藤泰弘他『新訂日本語の歴史』放送大学振興会、2005年、ISBN 4595305474 【参】山口仲美『日本語の歴史』岩波新書、2006年、ISBN 4004310180	
成績評価方法と基準	<基準>日本語の文字・音韻・語彙・文体・文法について、基礎的なことが理解できていれば、合格とする。 <方法>テスト50%、小課題30%、受講態度20%	
備考		